

7 款 商工費

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	企業立地の促進						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 企業支援課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援	まち・ひと・しごと創生総合戦略	②	—			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子市企業立地支援条例、八王子市企業立地支援条例施行規則												
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子ビジョン2022及び産業振興マスタープラン【第2期】に掲げる企業支援における企業誘致の推進を図るため、企業立地支援条例を活用した企業立地促進事業を進めていく。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	10,697	18,226	17,757	△ 470	経常収入	保険料	0	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,542	10,750	2,350	△ 8,400		国庫支出金	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		都支出金	98,245	89,704	89,703	△ 1	
	小計	12,239	28,976	20,106	△ 8,870	分担金及び負担金		0	0	0	0		
	業務費用	物件費等	物件費	96	0	0		0	使用料及び手数料	0	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0	0
			減価償却費	0	0	0		0	その他	0	0	0	0
			その他	0	0	0		0	小計	98,245	89,704	89,703	△ 1
	その他の業務費用	その他	支払利息	0	0	0		0	経常収支差額(A)	△ 341,391	△ 406,301	△ 336,694	69,607
			徴収不能引当金繰入額	0	0	0		0	特別費用	0	0	0	0
			その他	0	0	0		0	特別収入	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	特別収支差額(B)		0	0	0	0		
	小計	12,335	28,976	20,106	△ 8,870	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		△ 341,391	△ 406,301	△ 336,694	69,607		
	移転費用	427,301	467,029	406,291	△ 60,738	一般財源充当額(D)		14,588	398,610	337,814	△ 60,796		
小計	439,636	496,005	426,397	△ 69,608	再計(C) + (D)	△ 326,803	△ 7,691	1,120	8,811				

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	企業立地支援条例奨励金【406,291千円】	—

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.46人	2.51人	2.45人	△ 0.06人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.46人	2.51人	2.45人	△ 0.06人

指標と単位当たりコスト

①	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	人件費比率	%	2.78%	5.84%	4.72%	△1.13%	
②	活動指標	奨励金指定件数	件	7	8	14	6	平成29年7月に条例を改正し、交付要件を緩和することで、市内企業の市内への定着を促進を進めたため、件数が増加した。
		単位当たりコスト	円/件	62,805,143	62,000,611	30,456,936	△ 31,543,675	
③		単位当たりコスト	円/					
④		単位当たりコスト	円/					
⑤		単位当たりコスト	円/					

事業実績

30年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度以降の条例改正へ向けた検討を行う。 引き続き、制度周知に注力する。 都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 	29年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度末までの時限条例となっている企業立地支援条例の継続へ向けた検討 制度の周知徹底
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 翌年度に向けて企業立地支援条例を改定した。 企業立地支援条例に基づき、14件の事業者を指定し、累計の指定実績が123件となった。 既指定事業者に奨励金を交付した。(奨励金交付事業者25件 460,290,900円) 東京都、UR都市機構、金融機関、産業支援機関等への制度周知活動を実施した。 企業立地サポートネット活用実績 11件(平成29年度:14件) 	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 翌年度に向けて企業立地支援条例を改定し、交付要件を緩和することで市内企業の市内への定着を促進を進めた。 東京都、UR都市機構、金融機関、産業支援機関等への制度周知活動を実施した。
			一部解決
30年度評価	達成	次年度の展開	拡充

今後の取組

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 平成31年4月より企業立地支援条例を改正したため、新制度の周知徹底と着実な運用を図っていく。 	30年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度末までの時限条例となっていた企業立地支援条例の改定を実施したため、新制度の周知徹底、着実な運用を進める。
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 引き続き事業用地サポートネットの活用を進める。 関係機関への制度周知を行う。 改正後の企業立地支援条例の運用 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 引き続き事業用地サポートネットの活用を進める。 関係機関への制度周知を行う。 改正後の企業立地支援条例の運用

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	中小企業等の活性化支援						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 企業支援課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	②	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	産業振興マスタープラン第二期												
事業目的 (最終的に目指す状態)	地域経済活性化のための中小企業支援												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	8,426	8,714	8,842	128	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,433	1,634	1,530	△ 104		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	3,523	3,722	199
	小計	9,858	10,347	10,372	24	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	業務費用	物件費	3,311	3,120	3,169	49		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	38	42	40	△ 2
		その他	0	0	0	0		小計	38	3,565	3,762	197
	小計	3,311	3,120	3,169	49	経常収支差額(A)		△ 52,488	△ 51,669	△ 51,821	△ 152	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		△ 52,488	△ 51,669	△ 51,821	△ 152	
	小計	13,169	13,467	13,541	74	一般財源充当額(D)		52,718	51,678	51,989	310	
	移転費用	39,357	41,767	42,042	275	再計(C) + (D)		230	9	168	159	
小計	52,526	55,234	55,582	349								

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	サイバーシルクロード八王子補助金(人件費)【15,953千円】 サイバーシルクロード八王子補助金(運営費・事業費)【6,605千円】 小規模事業経営支援事業補助金【9,890千円】	光熱水費負担金【40千円】 東京都産業集積活性化支援事業費補助金【3,722千円】

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.15人	1.20人	1.22人	0.02人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.15人	1.20人	1.22人	0.02人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	人件費比率	%	18.77%	18.73%	18.66%	△0.07%	
②	活動指標	支援(助成)した企業数	社	29	35	33	△ 2	交付予定数は36社であったが、会社都合により本補助金を活用しない意向となったため件数が減少した
		単位当たりコスト	円/社	1,811,234	1,578,102	1,684,307	106,205	
③		単位当たりコスト	円/					
④		単位当たりコスト	円/					
⑤		単位当たりコスト	円/					

事業実績

30年度目標	<ul style="list-style-type: none"> クラウドファンディングと農商工連携を更に進める。 展示会出展補助の周知を進め、昨年度以上の採択を目指す。 	29年度末時点の課題	新産業創出に取り組むサイバーシルクロード八王子事業の更なる充実
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> クラウドファンディング5件起案実施 JA八王子との連携により、生産者に対する意見交換を実施 市内中小企業の販路拡大支援 出展補助中小企業企業数 18社⇒15社 出展補助小規模企業数 17社⇒18社 	課題への対応	<p>後継者育成や創業支援のほか、農商工連携支援について市を含む主催者側で「実施⇒振り返り⇒改善」を進めながら実施した。</p> <p style="text-align: center;">一部解決</p>
30年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

今後の取組

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> クラウドファンディングや農商工連携などによる新事業創出 展示会出展補助および販路拡大支援補助の活用による中小企業の販路拡大(総計40件以上の採択) 	30年度末時点の課題	販路先を見据えた(出口戦略)新産業の創出支援および中小企業の販路拡大支援のメニューの周知、実施
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 展示会やIT導入など、様々な手段を活用し販路拡大に取り組む中小企業を支援するための補助制度の実施 農業、商業、工業といった本市の地域資源を活用した新産業の創出に向けた機会の創出 八王子商工会議所を主体とした小規模企業の経営改善支援 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> 市内中小企業の販路開拓支援 農業、商業、工業といった本市の地域資源を活用した新産業の創出 八王子商工会議所を主体とした小規模企業の経営改善支援

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	先端ものづくり支援						事業類型	施設運営									
担当部課	産業振興部 企業支援課																
基本計画	編	5	章	2	施策番号	39	高度な技術の集積を活かした産業振興			まち・ひと・しごと創生総合戦略	②	—					
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	八王子市先端技術センター条例、八王子市先端技術センター条例施行規則																
施設名称	先端技術センター(先端技術共同研究センター、先端技術開発・交流センター)																
施設の設置目的	企業間の連携又は企業と大学等との連携による共同研究開発を支援し、技術力の向上を目指す企業を支援することにより、企業の技術革新及び新たな事業展開を推進し、地域経済の発展に寄与する。																
施設運営形態	市が直接運営している施設です。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	25,644	22,511	22,830	319	経常収入	保険料	0	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	6,433	1,848	3,938	2,090		国庫支出金	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		都支出金	1,315	3,222	4,103	881	
	小計		32,077	24,359	26,768	2,409		分担金及び負担金	0	0	0	0	
	業務費用	物件費等	物件費	18,681	16,756	16,728		△ 28	使用料及び手数料	517	332	616	284
			維持補修費	329	0	0		0	繰入金	0	0	0	0
			減価償却費	0	0	0		0	その他	368	1,856	363	△ 1,493
			その他	0	0	0		0	小計	2,200	5,409	5,081	△ 328
	小計		19,010	16,756	16,728	△ 28		経常収支差額(A)	△ 51,550	△ 41,450	△ 45,851	△ 4,402	
	その他の業務費用	その他	支払利息	0	0	0		0	特別費用	0	0	0	0
			徴収不能引当金繰入額	0	0	0		0	特別収入	0	0	0	0
			その他	1	1	1		0	特別収支差額(B)	0	0	0	0
小計		1	1	1	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	△ 51,550	△ 41,450	△ 45,851	△ 4,402			
小計		51,088	41,116	43,497	2,381	一般財源充当額(D)	49,744	45,790	46,298	508			
移転費用		2,662	5,743	7,436	1,693	再計(C)+(D)	△ 1,806	4,340	447	△ 3,894			
小計		53,750	46,859	50,933	4,074								

30年度	経常費用		経常収入	
主な内訳	先端技術開発・交流センター賃借料【7,425千円】 産学連携による研究・開発費等補助金【5,166千円】 小規模企業産学連携促進補助金【2,270千円】		先端技術共同研究センター入居施設使用料【616千円】	

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.50人	1.20人	1.25人	0.05人
任期付職員	2.00人	1.90人	1.90人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	3.50人	3.10人	3.15人	0.05人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	建物減価償却率	%	—	—	—		
②	その他	人件費比率	%	59.68%	51.98%	52.56%	0.57%	
③	活動指標	セミナー開催回数	回	6	6	7	1	実績による
		単位当たりコスト	円/回	8,958,328	7,809,787	7,276,091	△ 533,696	
④	成果指標	セミナー参加人数	人	333	324	405	81	実績による
		単位当たりコスト	円/人	161,411	144,626	125,760	△ 18,866	
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

貸借対照表

(単位 千円)

勘定科目					28年度末	29年度末(a)	30年度末(b)	対前年度(b-a)	勘定科目					28年度末	29年度末(a)	30年度末(b)	対前年度(b-a)
【資産の部】									【負債の部】								
固定資産	事業用資産	土地	0	0	0	0	0	0	固定負債	市債	0	0	0	0	0	0	
		建物	0	0	0	0	0	退職手当引当金		26,470	22,358	21,784	△ 574				
		建物減価償却累計額	0	0	0	0	0	その他		0	0	0	0				
		その他	0	0	0	0	0	小計		26,470	22,358	21,784	△ 574				
	インフラ資産	小計		0	0	0	0	0	流動負債	市債	0	0	0	0	0		
		土地	0	0	0	0	0	未払費用		0	0	0	0	0			
		建物	0	0	0	0	0	賞与等引当金		2,076	1,848	1,975	127				
		建物減価償却累計額	0	0	0	0	0	その他		0	0	0	0				
		その他	0	0	0	0	0	小計		2,076	1,848	1,975	127				
		小計		0	0	0	0	0		負債合計	28,547	24,206	23,759	△ 447			
									【純資産の部】								
									固定資産等形成分	0	0	0	0	0			
									余剰分(不足分)	△ 28,547	△ 24,206	△ 23,759	447				
流動資産	現金	0	0	0	0	0	0										
	未収金	0	0	0	0	0	0										
	徴収不能引当金	0	0	0	0	0	0										
	その他	0	0	0	0	0	0										
	小計	0	0	0	0	0	0										
資産合計									0	0	0	0	0				
									純資産合計	△ 28,547	△ 24,206	△ 23,759	447				
									負債及び純資産合計	0	0	0	0				

30年度末	土地	建物
主な内訳	先端技術センターは、民間の施設を賃借して運営しているため、市が保有する土地はない。	先端技術センターは、民間の施設を賃借して運営しているため、市が保有する建物はない。

事業実績

30年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 先端技術共同研究センターの空室解消 先端技術セミナー6回開催 産学連携による研究・開発費等への補助金及び小規模企業産学連携促進補助金の利用件数6件(産学連携事業) 	29年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 先端技術共同研究センターの空室解消 産学連携による研究・開発費等への補助金のさらなる活用 小規模企業産学連携促進補助金のさらなる活用
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 新先端技術共同研究センター(仮称)の設置検討 先端技術セミナー7回開催 産学連携による研究・開発費等への補助金及び小規模企業産学連携促進補助金の利用件数10件(産学連携事業) 	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 新先端技術共同研究センター(仮称)の検討 先端技術セミナーの開催 企業からの相談対応及び企業訪問の実施 産学連携による研究・開発費等への補助事業を実施 小規模企業産学連携促進補助事業を実施
30年度評価	目標以上の達成	次年度の展開	一部解決 拡充

今後の取組

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 新産業創出センター(旧先端技術共同研究センター)の新設 新産業開発・交流センター(旧先端技術開発・交流センター)の移転 産学連携による研究・開発費等への補助金及び小規模企業産学連携促進補助金の利用件数10件(産学連携事業) 	30年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 先端技術共同研究センターの廃止 先端技術開発・交流センターの移転 産学連携による研究・開発費等への補助事業及び小規模企業産学連携促進補助事業の利用促進
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 新産業創出センター(旧先端技術共同研究センター)の円滑な運営 新産業開発・交流センター(旧先端技術開発・交流センター)の移転処理及び移転後の運営 産学連携による研究・開発費等への補助事業及び小規模企業産学連携促進補助事業の実施 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> 新産業創出センターの運営 新産業開発・交流センターの運営 産学連携による研究・開発費等への補助事業及び小規模企業産学連携促進補助事業の利用促進

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	繊維産業の振興						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 企業支援課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援	まち・ひと・しごと創生総合戦略	②	—			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子市繊維産業振興事業補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	地場産業である八王子の繊維産業の振興を図るため、繊維産業振興団体が展開する新製品の開発や販路拡大等の活動を支援する。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	220	290	290	△ 1	経常収入	保険料	0	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	37	120	45	△ 75		国庫支出金	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0	
	小計	257	411	335	△ 76	分担金及び負担金		0	0	0	0		
	業務費用	物件費等	物件費	265	275	287		12	使用料及び手数料	0	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0	0
			減価償却費	0	0	0		0	その他	0	0	0	0
			その他	0	0	0		0	小計	0	0	0	0
	小計	265	275	287	12	経常収支差額(A)		△ 2,484	△ 2,647	△ 2,584	63		
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0	
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		△ 2,484	△ 2,647	△ 2,584	63		
	小計	522	685	622	△ 63	一般財源充当額(D)		2,490	2,580	2,595	15		
	移転費用	1,962	1,962	1,962	0	再計(C) + (D)		6	△ 68	11	78		
小計	2,484	2,647	2,584	△ 63									

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	繊維産業振興事業補助金【1,962千円】 光熱水費【287千円】	—

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.03人	0.04人	0.04人	0.00人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.03人	0.04人	0.04人	0.00人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	10.35%	15.52%	12.98%	△2.54%
②	活動指標	補助金交付件数	件	2	2	2	0
		単位当たりコスト	円/件	1,241,853	1,323,731	1,292,087	△ 31,645
③	成果指標	実施事業数	件	4	4	4	0
		単位当たりコスト	円/件	620,927	661,866	646,043	△ 15,822
④		単位当たりコスト	円/				
⑤		単位当たりコスト	円/				

事業実績

30年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓事業(展示会出展)、製品開発事業(産学協働による製品開発等)を実施 	29年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・継承者の育成など八王子織物の伝統を守るための事業と、新たな視点による製品開発、ブランド開発などの事業とを同時に進めることが必要 ・織物のまちであることの認知度の向上
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「八王子織物総合展」に出品し、産地ブランド「マルベリーシティ」ネクタイ、伝統的工芸品「多摩織」、「八王子織物×多摩美術大学」の協同連携事業によるテキスタイル製品の作品等を中心に展示し一般消費者等に対し地場織物の魅力PRに努め市場開拓に繋げた。 ・日本最大の繊維見本市「ジャパングリエーション2018A/W展」に出展。 ・「八王子織物プロジェクト:テキスタイルデザインの開発」として、八王子織物の機屋と共同し、「八王子織物×多摩美術大学」のオリジナルブランドのテキスタイル製品を開発。 ・八王子はた織伝承会、多摩シルク21研究会それぞれの団体が年間を通じて週1回の活動を継続的に行い、機織りや染め物の伝統文化継承のための活動を行った。 	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・「八王子織物総合展」に出品し、産地ブランド「マルベリーシティ」ネクタイ、伝統的工芸品「多摩織」、「八王子織物×多摩美術大学」の協同連携事業によるテキスタイル製品の作品等を中心に展示し一般消費者等に対し地場織物の魅力PRに努め市場開拓に繋げた。 ・日本最大の繊維見本市「ジャパングリエーション2018A/W展」に出展。 ・「八王子織物プロジェクト:テキスタイルデザインの開発」として、八王子織物の機屋と共同し、「八王子織物×多摩美術大学」のオリジナルブランドのテキスタイル製品を開発。 ・八王子はた織伝承会、多摩シルク21研究会それぞれの団体が年間を通じて週1回の活動を継続的に行い、機織りや染め物の伝統文化継承のための活動を行った。
30年度評価	達成	次年度の展開	解決 現状維持

今後の取組

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓事業等の補助対象事業の計画通りの実施 ・市内の機織り技術を伝承する団体への支援を実施 ・織物伝承拠点施設(旧浅川支所)の移転先の検討 	30年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・継承者の育成など八王子織物の伝統を守るための事業と、新たな視点による製品開発、ブランド開発などの事業とを同時に進めることが必要 ・織物のまちであることの認知度の向上 ・織物伝承拠点施設(旧浅川支所)の老朽化による移転の検討
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓事業等の補助対象事業の計画通りの実施 ・市内の機織り技術を伝承する団体への支援を実施 ・織物伝承拠点施設(旧浅川支所)の老朽化による移転先の検討 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓事業等の補助対象事業の計画通りの実施 ・市内の機織り技術を伝承する団体への支援を実施 ・織物伝承拠点施設(旧浅川支所)の老朽化による移転先の検討

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	起業支援						事業類型	補助・負担・支援									
担当部課	産業振興部 企業支援課																
基本計画	編	5	章	2	施策番号	40	新産業の創出			まち・ひと・しごと創生総合戦略	②	-					
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	産業振興マスタープラン第二期																
事業目的 (最終的に目指す状態)	地域経済活性化のため、新たな活力の創出につながる新規企業創業を促す。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	
経常費用	人件費	職員給与費	1,099	2,542	2,537	△ 5	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	187	1,904	397	△ 1,507		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0
	小計	1,286	4,446	2,934	△ 1,512	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	業務費用	物件費	309	243	237	△ 6		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		小計	0	0	0	0
	小計	309	243	237	△ 6	経常収支差額(A)		△ 1,595	△ 4,689	△ 3,171	1,518	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 1,595	△ 4,689	△ 3,171	1,518	
	小計	1,595	4,689	3,171	△ 1,518	一般財源充当額(D)		1,625	3,179	3,264	85	
	移転費用	0	0	0	0	再計(C)+(D)		30	△ 1,510	93	1,603	
小計	1,595	4,689	3,171	△ 1,518								

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	アドバイザー謝礼【237千円】	—

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.15人	0.35人	0.35人	0.00人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.15人	0.35人	0.35人	0.00人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	人件費比率	%	80.63%	94.82%	92.53%	△2.29%	
②	成果指標	創業セミナー受講者数	人	15	17	21	4	本気の創業塾の周知について、図書館や政策金融公庫などにも協力を依頼したため、応募数が増えたと想定されるため
		単位当たりコスト	円/人	106,324	275,810	151,006	△ 124,803	
③		単位当たりコスト	円/					
④		単位当たりコスト	円/					
⑤		単位当たりコスト	円/					

事業実績

30年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・創業塾受講者のうち希望する者から2名を選定し、1名につき年間12回の専門家による支援を実施する。 	29年度末時点の課題	あらゆる業種の起業・創業者への支援
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーによる伴走支援 延べ22回(対象:30年度4名、新規2名 1名に対し11回実施) 	課題への対応	業種に特化せず本気の創業塾を実施した
			解決
30年度評価	やや不十分	次年度の展開	改善

今後の取組

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・創業を志す者、創業者に対し、いつでも相談できる支援体制の周知を起業家応援プロジェクトの取り組みとして実施する。 ・課題に対して適切なサポートをできるように、起業家応援プロジェクトにて改善案を検討する。 	30年度末時点の課題	伴走型支援の対象者が非常に少数であり、地域活力の向上に寄与していない
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催する起業家応援プロジェクトにおいて事業の見直しについて検討を実施 ・今年度内に実現可能な見直しを遂行する 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・創業を志す者等を対象にした創業者の掘り起し ・創業者等に対する相談体制の強化

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	中小企業新商品開発認定制度の運営						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 企業支援課												
基本計画	編	5	章	2	施策番号	40	新産業の創出	まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	産業振興マスタープラン第2期、地方自治法、八王子市中小企業新商品開発認定制度実施要項												
事業目的 (最終的に目指す状態)	市内中小企業による優れた新商品の開発の促進、および販路開拓の支援												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	6,594	6,898	7,248	349	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,121	1,441	1,496	55		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	297	281	△ 16
	小計	7,715	8,340	8,744	404	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	業務費用	物件費	611	680	612	△ 67		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		小計	0	297	281	△ 16
	小計	611	680	612	△ 67	経常収支差額(A)		△ 8,326	△ 8,722	△ 9,075	△ 353	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		△ 8,326	△ 8,722	△ 9,075	△ 353	
	小計	8,326	9,019	9,356	337	一般財源充当額(D)		8,506	8,645	8,950	306	
	移転費用	0	0	0	0	再計(C) + (D)		180	△ 77	△ 125	△ 47	
小計	8,326	9,019	9,356	337								

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	カタログ・ポスター作成費【258千円】 技術審査業務委託料【124千円】 展示会施設等利用料【176千円】	東京都産業集積活性化支援事業費補助金【281千円】

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.90人	0.95人	1.00人	0.05人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.90人	0.95人	1.00人	0.05人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	人件費比率	%	92.66%	92.46%	93.46%	0.99%	
②	成果指標	新商品の応募件数	件	11	10	8	△ 2	同制度によるサービス内容に対し、販路拡大などの中小企業の課題解決につながりづらいと認識される傾向にあるため
		単位当たりコスト	円/件	756,903	901,923	1,169,513	267,590	
③		単位当たりコスト	円/					
④		単位当たりコスト	円/					
⑤		単位当たりコスト	円/					

事業実績

30年度目標	15件の商品を認定する。	29年度末時点の課題	随意契約による認定商品の購入実績を増やし、使用評価を実施すること。
目標に対する事業実績	八王子市新商品開発認定制度を実施し、市内中小企業の7商品を認定した。	課題への対応	各所管への周知を図るため、認定商品に関係がある所管に認定企業および認定商品を紹介し、マッチングを図った。
			一部解決
30年度評価	不十分	次年度の展開	改善

今後の取組

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・製品、役務合わせて15件を目標に応募案件を募集し、審査・認定する。 ・認定商品に対する販路拡大支援を実施 	30年度末時点の課題	認定商品の周知度の向上、販路拡大支援
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子市中小企業新商品開発認定制度の実施 ・中小企業基盤整備機構の販路開拓コーディネート事業等の活用による認定商品の販路拡大支援 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子市中小企業新商品開発認定制度の実施 ・認定商品を対象とした販路開拓支援補助金の交付

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	海外経済交流の促進						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 企業支援課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	②	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子ビジョン2022、産業振興マスタープラン【第2期】												
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子ビジョン2022及び産業振興マスタープラン【第2期】に掲げる企業支援における市内企業の海外経済交流の促進を図る。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	7,473	5,301	5,218	△ 83	経常収入	保険料	0	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,201	435	746	310		国庫支出金	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		都支出金	8,000	8,260	8,260	0	
	小計	8,675	5,736	5,964	228	分担金及び負担金		0	0	0	0		
	業務費用	物件費等	物件費	8,208	8,477	8,459		△ 18	使用料及び手数料	0	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0	0
			減価償却費	0	0	0		0	その他	77	1,812	0	△ 1,812
			その他	0	0	0		0	小計	8,077	10,072	8,260	△ 1,812
	その他の業務費用	その他	支払利息	0	0	0		0	経常収支差額(A)	△ 8,805	△ 4,141	△ 6,163	△ 2,022
			徴収不能引当金繰入額	0	0	0		0	特別費用	0	0	0	0
			その他	0	0	0		0	特別収入	0	0	0	0
			小計	0	0	0		0	特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	16,882	14,213	14,423	210	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 8,805	△ 4,141	△ 6,163	△ 2,022		
	移転費用	0	0	0	0	一般財源充当額(D)		9,093	6,761	6,432	△ 328		
	小計	16,882	14,213	14,423	210	再計(C)+(D)		288	2,619	269	△ 2,350		

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	海外経済交流促進事業委託料【8,260千円】	東京都地域人材・育成支援事業補助金【8,260千円】

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.02人	0.73人	0.72人	△ 0.01人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.02人	0.73人	0.72人	△ 0.01人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	人件費比率	%	51.38%	40.36%	41.35%	0.99%	
②	活動指標	支援企業数	社	11	11	9	△ 2	支援対象企業の事業進捗、それに伴う海外展開の意向により参加企業が減少したため
		単位当たりコスト	円/社	1,534,759	1,292,091	1,602,557	310,466	
③		単位当たりコスト	円/					
④		単位当たりコスト	円/					
⑤		単位当たりコスト	円/					

事業実績

30年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 国内での市内企業と台湾企業の共同出展実施 台湾現地での商談会開催 市事業をきっかけとする参加企業の新たなビジネス創出(2件以上目標) 今後の海外経済交流促進事業の方向性検討。 	29年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 台湾現地商談会と共に、国内での台湾企業との交流機会を探る。 これまでの実績を踏まえ、今後の海外経済交流事業の方向性の検討が必要。
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 台湾ビジネス研究会の開催 2回 市内中小企業6社と台湾企業との商談会開催(台中市) 延べ36件の商談(1日間) 特定の国や地域にとらわれない海外展開支援策を31年度事業として予算計上した。 	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 国内で開催される展示会に市内企業および台湾企業で共同出展した。 特定の国や地域にとらわれない海外展開支援策を31年度事業のアクションプランおよび予算計上した
			解決
30年度評価	達成	次年度の展開	拡充

今後の取組

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 海外展開に挑戦する中小企業の掘り起し 海外展開に取り組む中小企業を対象とした補助事業の実施 中小企業基盤整備機構やジェトロ等の外部支援機関との連携強化 	30年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 海外展開に挑戦する中小企業の掘り起し 外部支援機関のリソース活用などによる支援メニューの充実化
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 海外展開に挑戦する中小企業の掘り起しを目的としたセミナーの開催 海外展開に取り組む中小企業を対象とした補助事業の実施 中小企業基盤整備機構やジェトロ等の外部支援機関との連携強化 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> 海外展開に挑戦する中小企業の掘り起し 海外展開に取り組む中小企業を対象とした補助事業の実施 中小企業基盤整備機構やジェトロ等の外部支援機関との連携強化

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	中心市街地の活性化						事業類型	その他								
担当部課	拠点整備部 市街地活性課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興			まち・ひと・しごと創生総合戦略	③	④				
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律、八王子市中心市街地活性化基本計画															
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子市中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地のまちの魅力づくり、にぎわいの創出に取り組むことで中心市街地の活性化を図る。															

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	17,291	23,237	27,179	3,942	経常収入	保険料	0	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	5,566	9,340	8,225	△ 1,114		国庫支出金	14,985	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	2,300	0	0	0	0
	小計		22,857	32,577	35,404	2,827		分担金及び負担金	0	0	0	0	0
	業務費用	物件費	34,251	13,918	8,262	△ 5,656		使用料及び手数料	0	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0	0
		減価償却費	1,040	3,135	3,135	0		その他	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		小計	17,285	0	0	0	0
	小計		35,290	17,053	11,397	△ 5,656		経常収支差額(A)	△ 47,130	△ 53,479	△ 49,799	3,680	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0	0
	小計		0	0	0	0		本年度収支差額(A)+(B)=(C)	△ 47,130	△ 53,479	△ 49,799	3,680	
	小計		58,147	49,630	46,801	△ 2,829		一般財源充当額(D)	52,340	44,605	43,366	△ 1,239	
	移転費用		6,268	3,849	2,998	△ 851		再計(C)+(D)	5,210	△ 8,873	△ 6,433	2,441	
小計		64,415	53,479	49,799	△ 3,680								

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	中心市街地歩行量調査業務委託料【3,451千円】 中心市街地おもてなし通信環境の運用業務委託料【2,549千円】 マグシスタワーズ修繕積立金【622千円】 まちなか交流・活動拠点共益費【753千円】 空き店舗改修費補助金【1,500千円】 魅力づくり支援補助金【867千円】	—

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.96人	2.70人	3.50人	0.80人
任期付職員	0.40人	0.50人	0.25人	△ 0.25人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	2.36人	3.20人	3.75人	0.55人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	人件費比率	%	35.48%	60.92%	71.09%	10.18%	
②	活動指標	空き店舗改修費補助金募集日数	日	221	223	210	△ 13	②③の指標は、細事業「空き店舗改修費補助金」に係るものである。空き店舗を活用し、出店するための店舗改修費を対象として補助を行っているが、30年度の本制度の周知活動が十分でなく、目標件数(30年度目標:5件)に到達しなかった。 ※単位当たりコストは、細事業「空き店舗改修費補助金」の経常費用から算出 経常費用 28年度7,714,818円 29年度6,406,450円 30年度7,309,718円
		単位当たりコスト	円/日	34,909	28,728	34,808	6,080	
③	成果指標	空き店舗への出店数	件	5	2	3	1	
		単位当たりコスト	円/件	1,542,964	3,203,225	2,436,573	△ 766,652	
④	活動指標	Hachioji Free Wi-Fi提供日数	日	121	365	365	0	
		単位当たりコスト	円/日	122,245	28,518	17,770	△ 10,748	
⑤	成果指標	Hachioji Free Wi-Fiアクセス件数	件	40,678	266,413	569,541	303,128	
		単位当たりコスト	円/件	364	39	11	△ 28	

事業実績

30年度目標	中心市街地活性化基本計画に掲げる事業の適切な進行管理	29年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化基本計画に掲げた事業の適切な進行管理 民間事業を確実に推進していくための支援体制
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者通行量の調査（調査日 平成30年12月2・4日） 空き店舗改修費補助金の交付・・・3件（飲食業1件 サービス業1件 小売業1件） 中心市街地魅力づくり支援・・・1件（商店街組織において誰でも利用できるベンチを民地に設置） まちなか交流・活動拠点(kikki+)の運営支援 中心市街地おもてなし通信環境の提供（Wi-Fiアクセス件数 569,541回／年） 	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化基本計画に掲げた事業の進行管理については、八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、庁内の関係所管課と連携し、適切に行った。 民間事業を確実に推進していくため、当課の支援体制の充実を図り、中心市街地活性化協議会を支援した。
			解決
30年度評価	やや不十分	次年度の展開	改善

今後の取組

元年度目標	<p>中心市街地活性化基本計画に掲げる事業の適正な進行管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度以降に着手する事業(4事業)を除く82事業に着手し、計画期間内(令和5年3月まで)に実施できる見込みが立っている状態 事業進捗に遅れがあれば、是正措置を講じている状態 	30年度末時点の課題	西放射線ユーロードの道路空間の適正な活用のための課題整理
元年度の取組	<p>中心市街地活性化基本計画に掲げた事業の進行管理を行うとともに、所管事業を計画どおり実施する。また、本基本計画の初年度の取組に対してフォローアップを実施する。</p> <p>引き続き、中心市街地活性化協議会を支援し、本計画を推進していく。</p> <p>西放射線ユーロードの道路空間の適正な活用のためのルール作りを、中心市街地活性化協議会と連携し、進めていく。</p>	2年度の計画	中心市街地活性化基本計画に掲げた事業の進行管理を行うとともに、見直し・改善を図ることにより本基本計画のPDCAサイクルを適切に管理していく。

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	MICEの推進						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 産業政策課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略	④			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	産業振興マスタープラン【第2期】、公益社団法人八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	(公社)八王子観光コンベンション協会に対する補助を実施し、本市の観光資源・産業資源を生かしたMICE誘致活動を展開することで、中心市街地をはじめとした市域への一層の誘客を図り、まちのにぎわいの創出につなげるとともに、経済波及効果を生み出していく。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	6,154	5,083	5,943	860	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,046	417	1,797	1,379		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	1,500	0	0	0
	小計	7,201	5,500	7,740	2,239	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	業務費用	物件費	572	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	286	1,304	0	△ 1,304
		その他	0	0	0	0		小計	1,786	1,304	0	△ 1,304
	小計	572	0	0	0	経常収支差額(A)		△ 25,799	△ 34,971	△ 49,438	△ 14,467	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		△ 25,799	△ 34,971	△ 49,438	△ 14,467	
	小計	7,773	5,500	7,740	2,239	一般財源充当額(D)		25,968	36,356	48,719	12,363	
	移転費用	19,813	30,775	41,698	10,924	再計(C) + (D)		168	1,385	△ 719	△ 2,104	
小計	27,585	36,275	49,438	13,163								

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	八王子観光コンベンション協会補助金【41,699千円】	—

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.84人	0.70人	0.82人	0.12人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.84人	0.70人	0.82人	0.12人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	人件費比率	%	26.10%	15.16%	15.66%	0.49%	
②	活動指標	MICE開催支援件数	件	0	11	30	19	実績による
		単位当たりコスト	円/件	—	3,297,721	1,647,929	△ 1,649,792	
③	成果指標	経済波及効果	千円	0	111,920	381,000	269,080	MICE開催支援件数の増による
		単位当たりコスト	—	—	—	—	—	
④		単位当たりコスト	円/					
⑤		単位当たりコスト	円/					

事業実績

30年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子観光コンベンション協会と連携し、市内MICE関連事業者によるネットワークの構築、運用 ・MICE誘致件数 6件 	29年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE開催者に対する支援内容の確立 ・八王子観光コンベンション協会の中長期的な人員体制と費用負担
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者等を対象とするMICEセミナーの定期開催 ・大学等へのMICEセールス ・学会・シンポジウム等開催に関する実態調査の実施 ・MICE開催支援件数 30件(29年度 11件) 	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE開催者に対する支援内容のアンケート調査 ・他市の支援内容の調査研究 ・八王子観光コンベンション協会職員の人材育成
30年度評価	達成	次年度の展開	一部解決 現状維持

今後の取組

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者ネットワークの各分野におけるキーパーソンの選定 ・MICE開催支援件数 35件 	30年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市内MICE関連事業者によるネットワークの構築、運用
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者等を対象とするMICEセミナーの定期開催 ・学会・シンポジウム等開催に関する実態調査のとりまとめ ・上記調査結果を活用した大学等へのMICEセールス 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE開催支援件数 40件 ・事業者ネットワークの拡充 ・産業交流拠点を見据えた開催支援内容の検証

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	事業資金助成						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 産業政策課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	②				
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	事業資金融資あっ旋条例、事業資金融資あっ旋要綱、マル経融資利子補給金補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	市内で小規模事業を営み、または営もうとする法人・個人に対し、その事業に要する資金について金融機関に融資をあっ旋することによって、小規模事業者の自主的な経済活動を促進し、もって小規模事業の育成及び振興に寄与する。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	7,253	7,988	7,610	△ 378	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,233	2,063	832	△ 1,231		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	6,987	6,991	6,869	△ 122		都支出金	0	0	0	0
		小計	15,474	17,042	15,311	△ 1,730		分担金及び負担金	0	0	0	0
	業務費用	物件費	1,359	1,375	1,382	7		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	374	380	476	95		その他	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		小計	0	0	0	0
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		経常収支差額(A)	△ 201,119	△ 217,126	△ 214,682	2,444
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		小計	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	17,207	18,797	17,168	△ 1,628	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 201,119	△ 217,126	△ 214,682	2,444	
	移転費用	183,912	198,329	197,514	△ 816	一般財源充当額(D)		200,944	216,618	216,915	297	
小計	201,119	217,126	214,682	△ 2,444	再計(C)+(D)	△ 175	△ 508	2,233	2,741			

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	信用保証料補助金【76,125千円】 利子補給金【121,390千円】	—

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.99人	1.10人	1.05人	△ 0.05人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.72人	0.72人	0.72人	0.00人
計	1.71人	1.82人	1.77人	△ 0.05人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	人件費比率	%	7.69%	7.85%	7.13%	△0.72%	
②	活動指標	申込件数	件	1,324	1,434	1,400	△ 34	実績による
		単位当たりコスト	円/件	151,903	151,413	153,344	1,931	
③	成果指標	融資件数	件	1,183	1,203	1,203	0	実績による
		単位当たりコスト	円/件	170,008	180,487	178,456	△ 2,032	
④		単位当たりコスト	円/					
⑤		単位当たりコスト	円/					

事業実績

30年度目標	都との連携による新制度構築の検証	29年度末時点の課題	都制度を活用した信用保証料補助制度の検討
目標に対する事業実績	都との連携による新制度を検証するとともに、市内で小規模事業を営み、または営もうとする法人・個人に対し、その事業に要する資金について金融機関に融資をあっ旋し、融資に伴う信用保証料の補助や利子補給を行った。また、八王子商工会議所等が行う経営指導(6か月間)を修了した中小企業に対し、日本政策金融公庫の低利融資にかかる利子の一部を補助した。	課題への対応	都制度による信用保証料補助を活用できるよう引き続き調査研究する。
			未解決
30年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

今後の取組

元年度目標	都との連携による新制度構築の検証	30年度末時点の課題	都制度を活用した信用保証料補助制度の検討
元年度の取組	都との連携による新制度構築に向けた調査研究	2年度の計画	小規模事業者に対する利便性の高い事業資金あっ旋制度の運用

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	商店街の振興						事業類型	イベント								
担当部課	産業振興部産業政策課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	③	—				
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	平成30年度八王子市はばたけ商店街事業補助金交付要綱・八王子市輝く個店グループ支援事業補助金交付要綱・商店街振興組合法・八王子市産業振興会議設置要綱・八王子市商店街防犯設備整備事業補助金交付要綱															
事業目的 (最終的に目指す状態)	商店街の整備、店舗の集団化、共同店舗等の整備等の事業の実施を円滑にし、中小小売商業者の経営の近代化を促進すること等により、中小小売商業の振興を図る。															

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	11,723	10,674	9,132	△ 1,542	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	6,416	876	790	△ 86		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	21,112	27,249	22,786	△ 4,463
	小計	18,139	11,551	9,922	△ 1,629	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	物件費等	物件費	140	226	228	2		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	215	874	659
		その他	0	0	0	0		小計	21,112	27,464	23,660	△ 3,804
	小計	140	226	228	2	経常収支差額(A)		△ 34,978	△ 33,830	△ 26,508	7,322	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 34,978	△ 33,830	△ 26,508	7,322	
	小計	18,279	11,777	10,150	△ 1,627	一般財源充当額(D)		29,950	35,402	28,483	△ 6,919	
	移転費用	37,811	49,517	40,018	△ 9,499	再計(C)+(D)		△ 5,028	1,571	1,975	403	
小計	56,090	61,294	50,168	△ 11,126								

30年度	経常費用		経常収入	
主な内訳	はばたけ商店街事業補助金【39,034千円】		—	

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.60人	1.47人	1.26人	△ 0.21人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.60人	1.47人	1.26人	△ 0.21人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	32.34%	18.85%	19.78%	0.93%
②	活動指標	商店街イベント回数	回	70	66	66	0
		単位当たりコスト	円/回	801,280	928,695	760,121	△ 168,574
③	成果指標	単位当たりコスト	円/				
④		単位当たりコスト	円/				
⑤		単位当たりコスト	円/				

事業実績

30年度目標	相乗効果の検証と、より効果的な補助のあり方の検討。	29年度末時点の課題	体力の無い小規模商店会への支援策
目標に対する事業実績	イベントの共同開催による面的な広がりができた	課題への対応	商店会施設の老朽化対策など、ハード整備の要望に十分応えられないケースがある。
			一部解決
30年度評価	達成	次年度の展開	改善

今後の取組

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック、パラリンピックを契機としたインバウンドへの対応。 ・老朽化施設の改修 	30年度末時点の課題	商店街のハード整備に応えられず、危険な老朽化した施設がそのままとなっている
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック、パラリンピックを契機にインバウンドを進める。 ・老朽化施設の改修 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック、パラリンピックを契機にインバウンドを進める。 ・老朽化施設の改修

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	地域産業振興推進						事業類型	調査・企画立案					
担当部課	産業振興部 産業政策課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	36	産業振興の体制強化	まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	地方自治法、地方公務員法、非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例												
事業目的 (最終的に目指す状態)	市の産業振興全般に関して、必要に応じ市長に進言し又は助言する。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	7,913	13,579	4,421	△ 9,158	経常収入	保険料	0	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	3,194	7,954	382	△ 7,571		国庫支出金	0	0	0	0	
		その他	1,560	1,560	1,560	0		都支出金	0	0	0	0	
	小計	12,667	23,093	6,364	△ 16,729	分担金及び負担金		0	0	0	0		
	業務費用	物件費等	物件費	2,490	2,000	1,682		△ 318	使用料及び手数料	0	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0	0
			減価償却費	0	0	0		0	その他	3,507	0	8,777	8,777
			その他	0	0	0		0	小計	3,507	0	8,777	8,777
	小計	2,490	2,000	1,682	△ 318	経常収支差額(A)		△ 12,690	△ 27,033	692	27,725		
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0	
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		△ 12,690	△ 27,033	692	27,725		
	小計	15,157	25,093	8,046	△ 17,047	一般財源充当額(D)		14,912	21,240	9,309	△ 11,931		
	移転費用	1,040	1,940	40	△ 1,900	再計(C) + (D)		2,222	△ 5,793	10,001	15,794		
小計	16,197	27,033	8,086	△ 18,947									

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	産業振興参与報酬【1,560千円】	—

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.08人	1.87人	0.61人	△ 1.26人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.08人	1.87人	0.61人	△ 1.26人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	78.20%	85.42%	78.70%	△6.72%
②	活動指標	会議開催数	回	2	5	4	△ 1
		単位当たりコスト	円/回	8,098,622	5,406,609	2,021,402	△ 3,385,207
③	成果指標	単位当たりコスト	円/				
		単位当たりコスト	円/				
④		単位当たりコスト	円/				
		単位当たりコスト	円/				
⑤		単位当たりコスト	円/				
		単位当たりコスト	円/				

事業実績

30年度目標	6次産業化、地域ブランドの創出の検討 MICEの推進	29年度末時点 の課題	—
目標に対する 事業実績	農商工連携などの動きが進んだ	課題への対応	—
			—
30年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

今後の取組

元年度 目標	適正、円滑な事務執行	30年度末 時点の課題	—
元年度の 取組	適正、円滑な事務執行	2年度の 計画	適正、円滑な事務執行

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	観光資源の開発・活用						事業類型	その他								
担当部課	産業振興部観光課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	—	—				
予算科目	会計		一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例、平成30年度(公社)八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱、覚書(地権者と市の間で取り交わしている)															
事業目的 (最終的に目指す状態)	本市の緑豊かな自然をはじめ、長い歴史と伝統文化など、来訪者を魅了する観光資源を発見・開発・活用し、まちのイメージアップによる来訪者の増加を図る。															

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	9,451	8,641	7,900	△ 741	経常収入	保険料	0	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,128	709	683	△ 26		国庫支出金	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0	
	小計	11,580	9,351	8,583	△ 767	分担金及び負担金		0	0	0	0		
	業務費用	物件費等	物件費	8,946	8,629	10,043		1,414	使用料及び手数料	4,118	3,588	4,365	776
			維持補修費	259	0	0		0	繰入金	0	0	0	0
			減価償却費	0	0	0		0	その他	867	134	167	33
			その他	0	0	0		0	小計	4,985	3,722	4,532	809
	小計	9,206	8,629	10,043	1,414	経常収支差額(A)		△ 23,032	△ 27,560	△ 19,431	8,129		
	その他の業務費用	その他	支払利息	0	0	0		0	特別費用	0	0	0	0
			徴収不能引当金繰入額	0	0	0		0	特別収入	0	0	0	0
			その他	0	0	0		0	特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 23,032	△ 27,560	△ 19,431	8,129		
	小計	20,785	17,980	18,626	646	一般財源充当額(D)		23,708	28,790	20,502	△ 8,288		
	移転費用	7,231	13,303	5,337	△ 7,966	再計(C)+(D)		676	1,229	1,071	△ 159		
小計	28,017	31,283	23,963	△ 7,320									

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	滝山観桜林維持管理等経費【6,125千円】 高尾梅の里維持管理経費【4,365千円】 八王子花火大会に対する補助金交付【4,891千円】	高尾山麓駐車場使用料【4,364千円】

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.29人	1.19人	1.09人	△ 0.10人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.29人	1.19人	1.09人	△ 0.10人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	人件費比率	%	41.33%	29.89%	35.82%	5.93%	
②	成果指標	花火大会観覧者数	人	80,000	110,000	0	△ 110,000	台風12号の影響による事故防止のため平成30年度は開催が中止されたことによるもの。
		単位当たりコスト	円/人	350	284	—	—	
③	成果指標	木下沢梅林来訪者数	人	14,603	13,897	14,540	643	堅実なPRが実り、梅の名所としての知名度向上が図られた。
		単位当たりコスト	円/人	1,919	2,251	1,648	△ 603	
④	活動指標	木下沢梅林特別開放日数	日	15	15	15	0	—
		単位当たりコスト	円/日	1,867,774	2,085,518	1,597,530	△ 487,988	
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

事業実績

30年度目標	事業遂行により、効果的に観光資源の発見・開発・活用が図られており、来訪者数が増加している。花火大会観覧者と木下沢梅林来園者の合計 年間100,000人。	29年度末時点の課題	今後も、引き続き観光資源の適正な維持管理が求められる。 なお、花火大会については、2019年度は陸上競技場の改修工事により観覧スペースの十分な確保が見込めないこと、また、2020年度は東京2020大会開催に伴う警察及びガードマンの人員確保が困難を極めると予想されることから、早期段階での開催方法の検討を要する。
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子花火大会に対する補助事業及び運営支援を実施した。台風12号の影響に伴い、観覧者の安全上の配慮から開催は中止を余儀なくされたが、観覧者の安全管理を徹底した事業遂行が大前提であり、今回の対応は花火大会の危機管理及び安全対策を補助対象としている本市の姿勢に合致するものである。 ・滝山観桜林、高尾梅の里等の環境維持事業を実施し、観覧者等の安全確保・交通誘導などに努め、賑わいを創出した。 ・木下沢梅林来園者の合計およそ15,000人(3.9～3.24の特別開放期間中)。 ※花火大会の観覧者数は開催中止につき0名。 	課題への対応	<p>今後も、引き続き観光資源の適正な維持管理に努める。 2019年度の花火大会は、富士森公園陸上競技場の改修工事期間中での開催となることから、より一層の安全対策を図るよう主催者へ注意喚起するとともに、所管課として安全な大会運営に対し支援を行う。 なお、2020年度の花火大会は、東京2020大会開催を受け、5月下旬に日程を早め実施する意向を主催者より報告を受けている。</p>
30年度評価	達成	次年度の展開	一部解決 現状維持

今後の取組

元年度目標	観光資源の維持管理に努めるとともに、観光資源の効果的な発見・開発・活用に取り組むことで、来訪者数の増加を図る。 花火大会観覧者と木下沢梅林来園者の合計 年間100,000人。	30年度末時点の課題	今後も、引き続き観光資源の適正な維持管理が求められる。 改修後の富士森公園陸上競技場における花火大会の実施については、施設管理者との調整のうえ、開催にかかる事業経費の見直しが求められる。また、2020年度は5月に開催する予定であり、これまでと異なるリスクが見られるため、より一層の危機管理及び安全対策が求められる。
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子花火大会の運営支援 ・滝山観桜林の環境維持 ・高尾梅の里の環境整備 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子花火大会の運営支援 ・滝山観桜林の環境維持 ・高尾梅の里の環境整備

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	交流拠点施設の整備						事業類型	施設運営					
担当部課	産業振興部 観光課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興			まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計			.	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	観光立国推進基本法、八王子市夕やけ小やけふれあいの里条例、八王子市いきいき産業基本条例、指定管理者基本協定書及び年度協定書												
施設名称	夕やけ小やけふれあいの里												
施設の設置目的	自然に親しむレクリエーションの活動を行う場を提供することにより、農林業など地域の振興を図るとともに、市民の余暇活動の充実に資することを目的とする。												
施設運営形態	指定管理者により運営している施設です。												
利用料金収入(千円)	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)									
	34,640	32,099	33,157	1,059									

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	8,499	7,189	7,103	△ 86	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	688	590	1,041	451		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0
	小計	9,187	7,779	8,143	364	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	物件費等	物件費	106,368	93,028	100,385	7,357		使用料及び手数料	11,168	7,062	0	△ 7,062
		維持補修費	7,084	5,000	2,772	△ 2,228		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	50,878	50,806	50,841	35		その他	625	768	0	△ 768
		その他	0	0	0	0		小計	11,793	7,830	0	△ 7,830
	小計	164,331	148,834	153,998	5,164	経常収支差額(A)		△ 162,480	△ 148,783	△ 162,141	△ 13,359	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	△ 0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	△ 0	0	0
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 162,480	△ 148,783	△ 162,141	△ 13,359	
	小計	173,518	156,613	162,141	5,528	一般財源充当額(D)		113,506	106,073	116,337	10,264	
	移転費用	755	0	0	0	再計(C)+(D)		△ 48,974	△ 42,709	△ 45,804	△ 3,095	
小計	174,273	156,613	162,141	5,528								

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	夕やけ小やけふれあいの里運営に関する指定管理料【98,015千円】 施設修繕経費【7,471千円】	—

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.16人	0.99人	0.98人	△ 0.01人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.16人	0.99人	0.98人	△ 0.01人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	建物減価償却率	%	56.45%	58.72%	60.54%	1.81%
②	その他	人件費比率	%	5.27%	4.97%	5.02%	0.06%
③	成果指標	利用人数	人	107,125	99,368	100,623	1,255
		単位当たりコスト	円/人	1,627	1,576	1,611	35
④	活動指標	営業日数	日	364	364	364	0
		単位当たりコスト	円/日	478,771	430,255	445,443	15,188
⑤							
		単位当たりコスト	円/				

貸借対照表

(単位 千円)

勘定科目		28年度末	29年度末(a)	30年度末(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度末	29年度末(a)	30年度末(b)	対前年度(b-a)		
【資産の部】						【負債の部】						
固定資産	事業用資産	土地	1,524,884	1,524,884	0	固定負債	市債	0	0	0		
		建物	1,965,704	1,972,070	1,993,429	21,359		退職手当引当金	8,773	7,140	6,777	
		建物減価償却累計額	△ 1,109,553	△ 1,158,053	△ 1,206,742	△ 48,688		その他	0	0	0	
		その他	24,651	22,345	31,296	8,950		小計	8,773	7,140	6,777	
		小計	2,405,686	2,361,246	2,342,867	△ 18,379	流動負債	市債	0	0	0	
	インフラ資産		土地	0	0	0	0		未払費用	0	0	0
			建物	0	0	0	0		賞与等引当金	688	590	614
			建物減価償却累計額	0	0	0	0		その他	0	0	0
			その他	0	0	0	0		小計	688	590	614
			小計	0	0	0	0		負債合計	9,461	7,730	7,392
	長期延滞債権	0	0	0	0	【純資産の部】						
	徴収不能引当金	0	0	0	0	固定資産等形成分	2,416,505	2,372,065	2,353,686	△ 18,379		
	その他	10,820	10,820	10,820	0	余剰分(不足分)	△ 9,461	△ 7,730	△ 7,392	339		
	小計	2,416,505	2,372,065	2,353,686	△ 18,379	純資産合計	2,407,044	2,364,335	2,346,295	△ 18,040		
流動資産		現金	0	0	0	0	負債及び純資産合計	2,416,505	2,372,065	2,353,686	△ 18,379	
		未収金	0	0	0	0						
		徴収不能引当金	0	0	0	0						
		その他	0	0	0	0						
	小計	0	0	0	0							
資産合計		2,416,505	2,372,065	2,353,686	△ 18,379							

30年度末	土地	建物
主な内訳	夕やけ小やけふれあいの里【1,524,884千円】	夕やけ小やけふれあいの里【1,993,429千円】

事業実績

30年度目標	・引き続き指定管理者と連携し、効率的な施設運営に努める。	29年度末時点の課題	・さらなる利用者満足度の向上や天候に影響されない誘客につなげるため、実施イベントの企画内容等について見直し検討を要す。 ・開園から20年以上が経過し、経年劣化を原因とする修繕が必要な箇所が増加している。
目標に対する事業実績	・自然に親しむレクリエーション施設として効率的及び効果的な運営と利用者の安全を確保するとともに、快適に訪れることができる施設の管理運営を実施した。 ・施設内の設備や工作物を中心に老朽箇所の改修に努め、利用者サービスの向上に努めた。また、指定管理者においても、利用者に安全な施設利用を確保するため、多岐にわたる修繕を実施した。	課題への対応	・指定管理者との連携、協力を図り、適正かつ安全な施設運営に努めるとともに、利用者のニーズに則したサービスの提供に取り組む。
30年度評価	達成	次年度の展開	一部解決 現状維持

今後の取組

元年度目標	・引き続き指定管理者と連携し、効率的な施設運営に努める。	30年度末時点の課題	・利用者満足度の向上かつ費用対効果の見込みが高い企画内容の充実化。 ・開園から20年以上が経過し、経年劣化を原因とする修繕が必要な箇所が増加している。
元年度の取組	・引き続き指定管理者と連携し、利用者数及び利用料金収入の増加に努める。 ・施設内で特に老朽化の著しい木造部分や設備機器を中心に修繕を実施し、利用者にとって安全かつ快適な施設運営を行う。 ・地域交流会で共有した御意見等をもとに施設運営のブラッシュアップを施し、さらなる改善を図る。	2年度の計画	・老朽箇所を優先的に改修し、利用者の安全及び快適性の確保を図る。 ・施設のあり方やサービスについて地元関係者らと交えながら検討を重ねる。

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	観光資源情報の活用						事業類型	普及啓発・情報提供・相談					
担当部課	産業振興部 観光課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-		
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例、平成30年度(公社)八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	(公社)八王子観光コンベンション協会とともに、市内の多岐にわたる魅力を市内外及び海外に発信することによる来訪者の増加、またおもてなしの向上により、リピーターが増加し、市内が賑わいにあふれ活力に満ち溢れている状況を目指す												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	9,451	11,691	10,944	△ 747	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,855	4,222	994	△ 3,228		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	1,279	341	△ 938
	小計	12,306	15,913	11,937	△ 3,975	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	業務費用	物件費	204	3,336	2,957	△ 380		使用料及び手数料	559	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	197	197	197	0		その他	468	5,134	5,157	23
		その他	0	0	0	0		小計	1,027	6,413	5,498	△ 915
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		経常収支差額(A)	△ 41,293	△ 50,077	△ 46,431	3,646
	徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	特別費用		0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	特別収入		0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	特別収支差額(B)		0	0	0	0	
	小計	12,707	19,446	15,091	△ 4,355	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		△ 41,293	△ 50,077	△ 46,431	3,646	
	移転費用	29,613	37,044	36,837	△ 206	一般財源充当額(D)		40,268	47,829	47,416	△ 413	
	小計	42,320	56,490	51,929	△ 4,561	再計(C) + (D)		△ 1,025	△ 2,248	985	3,232	

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	観光マップ等の作成補助金【4,371千円】 高尾山・リニア広域観光拠点地区連絡会負担金【5,000千円】 観光PR事業委託料【2,737千円】 インフォメーションセンター運営費補助金【26,641千円】	多摩・島しょ広域連携活動助成金【4,999千円】 区市町村観光インフラ整備支援補助金【341千円】 光熱水費負担金【31千円】 施設共益費等負担金【125千円】

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.29人	1.61人	1.51人	△ 0.10人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.29人	1.61人	1.51人	△ 0.10人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	29.08%	28.17%	22.99%	△5.18%
②		単位当たりコスト	円/				
③		単位当たりコスト	円/				
④		単位当たりコスト	円/				
⑤		単位当たりコスト	円/				

事業実績

30年度目標	本市の特色的な見どころや観光資源を活用した観光客誘致や認知度の向上を図るとともに、2019ラグビーワールドカップや2020東京大会の開催に向けた外国人観光客の誘致を推進する	29年度末時点の課題	観光客の誘致及び来訪者の満足に向けた、観光大使やPR特使さらに100年応援団の発展的な活用、また、観光PRの業務委託、観光案内所における職場環境の整備等の検討が必要である
目標に対する事業実績	<p>【外国人観光客誘致】 <セールスコール(海外旅行博)> 中国プロモーション:1回 イギリスプロモーション:1回 ニュースレター 3月送付 シンガポール:357、マレーシア:85、タイ:94、ベトナム他:92 <高尾山・リニア地区事業>・・・モニターツアー、ファムトリップ実施による基礎調査の実施、ロゴデザイン制作、英語版パンフレット(30,000部)ポスター(5,000部)プロモーション動画の作成 動画コンテスト(49件)の実施。成田空港におけるイベントプロモーション2日間実施。 <台湾向けFacebook京王沿線市PR事業> 八王子市提供記事:8件、8,772PV、台湾人記者等による八王子市関連記事:28件、26,990PV 【観光PR大使制度】新たに観光PR特使5名を委嘱 【観光PR】PR実施回数25回 はちまるガイド等配布:54,000袋 【観光案内所】インフォメーションセンター:利用者数122,292人 開館日数364日 観光・まちなか案内所:利用者数107,102人 開館日数296日 高尾山口観光案内所:利用者数194,778人 開館日数364日 【八・連携事業】八相連携バスツアー 平成31年11月28日(会場:相模原市) 参加者20人</p>	課題への対応	<p>新たな特使を募集し、八王子市制100周年記念事業のPRに協力いただいた「八王子100年応援団」の団員を含む5組を決定し、新たに委嘱を行った。 観光PRの業務委託化を実施し、民間事業者のスキルを生かしたPRの事務改善を行った。 観光案内所における職場環境の整備は引き続き検討が必要である。</p>
30年度評価	達成	次年度の展開	一部解決 拡充

今後の取組

元年度目標	<p>本市の特徴的な見どころや観光資源を活用した観光客誘致や認知度の向上を図るとともに、東京2020大会の開催に向けた外国人観光客の誘致を推進する。 ・新たな観光大使の委嘱を含めた制度の発的な活用。 ・観光案内所看板の多言語表記化による受入環境整備の強化 ・ラグビーワールドカップ開催中の外国人旅行者へのPR ・高尾山・リニア観光拠点地区を広く発信するウェブサイトの構築</p>	30年度末時点の課題	外国人旅行者に対するウェブ上での情報発信ツール(プラットフォーム)の不足、観光客の誘致及び来訪者の満足に向けた、観光大使の発展的な活用、観光案内所における職場環境の整備等の検討が必要である。
元年度の取組	<p>ラグビーワールドカップを目的に増加する欧米豪からの来訪者に対し、高尾山リニア地区事業において作成したPRツール等、昨年度までの取り組みを引き続き活用し、新たにモデルコースを作成するなど、コンテンツを追加したプラットフォームを構築し、2020年東京大会以降を見据えた継続的な誘致を推進する。 観光大使制度の発展的な活用や観光PR業務委託の実施する。</p>	2年度の計画	元年度、新たに構築したプラットフォームを中心に、観光ガイドマップやPRツール(観光扇子、リーフレット)を活用し、東京2020大会を契機とした来訪者の誘致を図るとともに、国内各所におけるPR事業を継続的に実施し、観光大使、観光PR特使による情報発信と併せ、国内外における観光客の誘致を実施する。

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	観光関連施設等の環境整備						事業類型	施設運営						
担当部課	産業振興部 観光課													
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略	—	—			
予算科目	会計		一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例、八王子市観光施設条例													
施設名称	高尾山麓駐車場													
施設の設置目的	市民の健康で文化的な生活を増進するため及び観光客の誘致を促進し、観光事業の振興を図るため。													
施設運営形態	市が直接管理している施設。													

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	12,089	11,038	11,016	△ 21	経常収入	保険料	0	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,710	906	1,726	820		国庫支出金	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		都支出金	64	1,216	1,216	0	
	小計	13,799	11,944	12,743	799	分担金及び負担金		0	0	0	0		
	業務費用	物件費等	物件費	28,652	26,088	26,255		167	使用料及び手数料	31,067	26,945	26,429	△ 516
			維持補修費	986	644	1,024		380	繰入金	0	0	0	0
			減価償却費	3,761	3,761	3,757		△ 4	その他	233	437	294	△ 143
			その他	0	0	0		0	小計	31,364	28,598	27,938	△ 659
	小計	33,399	30,493	31,036	543	経常収支差額(A)		△ 18,981	△ 16,829	△ 18,798	△ 1,969		
	その他の業務費用	その他	支払利息	121	118	102		△ 15	特別費用	0	0	0	0
			徴収不能引当金繰入額	0	0	0		0	特別収入	0	0	0	0
			その他	30	0	0		0	特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	151	118	102	△ 15	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 18,981	△ 16,829	△ 18,798	△ 1,969		
	小計	47,349	42,554	43,881	1,327	一般財源充当額(D)		15,969	22,257	23,045	787		
	移転費用	2,996	2,872	2,855	△ 17	再計(C)+(D)		△ 3,012	5,428	4,247	△ 1,181		
小計	50,345	45,427	46,736	1,310									

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	高尾山麓駐車場維持運営経費【20,754千円】 観光地公衆便所清掃経費及び施設修繕経費他【8,181千円】 高尾陣馬特別警戒への負担金交付【1,200千円】	高尾山麓駐車場使用料【20,073千円】 歩行者用観光案内標識設置支援事業補助金【1,216千円】

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.65人	1.52人	1.52人	0.00人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.65人	1.52人	1.52人	0.00人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	建物減価償却率	%	62.13%	64.48%	66.83%	2.35%	
②	その他	人件費比率	%	27.41%	26.29%	27.26%	0.97%	
③	活動指標	公衆便所清掃回数	回	449	449	449	0	—
		単位当たりコスト	円/回	112,127	101,173	104,089	2,917	
④	成果指標	高尾山麓駐車場駐車台数	台	63,718	63,032	62,114	△ 918	記録的な猛暑により、利用者が減少したため。
		単位当たりコスト	円/台	790	721	752	32	
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

貸借対照表

(単位 千円)

勘定科目		28年度末	29年度末(a)	30年度末(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度末	29年度末(a)	30年度末(b)	対前年度(b-a)	
【資産の部】						【負債の部】					
事業用資産	土地	415,192	415,192	415,192	0	固定負債	市債	53,200	45,600	38,000	△ 7,600
	建物	43,401	43,401	43,401	0	退職手当引当金	12,479	10,963	10,512	△ 451	
	建物減価償却累計額	△ 26,965	△ 27,985	△ 29,005	△ 1,020	その他	0	0	0	0	
	その他	63,875	61,134	58,397	△ 2,737	小計	65,679	56,563	48,512	△ 8,051	
	小計	495,503	491,742	487,985	△ 3,757	流動負債	市債	7,600	7,600	7,600	0
	インフラ資産	土地	0	0	0	0	未払費用	2	2	2	△ 0
	建物	0	0	0	0	賞与等引当金	979	906	953	47	
	建物減価償却累計額	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	小計	8,581	8,508	8,555	47	
	小計	0	0	0	0	負債合計	74,260	65,071	57,067	△ 8,004	
長期延滞債権	0	0	0	0	【純資産の部】						
徴収不能引当金	0	0	0	0	固定資産等形成分	495,503	491,742	487,985	△ 3,757		
その他	0	0	0	0	余剰分(不足分)	△ 74,260	△ 65,071	△ 57,067	8,004		
小計	495,503	491,742	487,985	△ 3,757	純資産合計	421,243	426,671	430,918	4,247		
流動資産	現金	0	0	0	0	負債及び純資産合計	495,503	491,742	487,985	△ 3,757	
未収金	0	0	0	0							
徴収不能引当金	0	0	0	0							
その他	0	0	0	0							
小計	0	0	0	0							
資産合計	495,503	491,742	487,985	△ 3,757							

30年度末	土地	建物
主な内訳	高尾山麓駐車場【153,303千円】 高尾山麓落合臨時駐車場【47,146千円】 滝山観光駐車場【72,835千円】	高尾山麓駐車場(便所)【12,800千円】 陣場高原下公衆便所【9,240千円】 小仏公衆便所【8,110千円】

事業実績

30年度目標	効果・効率的な事業遂行により、来訪者の利便性が図られ、安全安心に本市の観光を楽しめる環境をつくる。	29年度末時点の課題	・老朽化した駐車場設備及び公衆便所設備の修繕。 ・高尾陣馬特別警戒の連絡協議会の参加団体が担っている役割の誠実な実行。
目標に対する事業実績	・高尾山麓駐車場駐車台数 61,834台 大型バス駐車場 280台 ・観光地公衆便所の清掃 陣馬高原下 108回/年 今熊山麓 48回/年 小仏 293/回 ・高尾陣馬特別警戒 13 団体 従事者 386 名	課題への対応	・老朽している設備や施設の環境維持の保全是引き続き行い、来訪者の安全な受け入れ体制を整備していく。 ・高尾陣馬特別警戒の連絡協議会の参加団体が担っている役割をより明確にし、誠実かつ適正な実行に努める。
30年度評価	達成	次年度の展開	一部解決 現状維持

今後の取組

元年度目標	効果・効率的な事業遂行により、来訪者の利便性が図られ、安全安心に本市の観光を楽しめる環境をつくる。	30年度末時点の課題	・老朽化した駐車場設備及び公衆便所設備の修繕。 ・高尾陣馬特別警戒の連絡協議会の参加団体が担っている役割の誠実な実行。
元年度の取組	・高尾山麓駐車場の管理 ・ハイキングコースの清掃と下草刈 ・高尾陣馬特別警戒 ・観光地公衆便所の維持管理	2年度の計画	・高尾山麓駐車場の管理 ・ハイキングコースの清掃と下草刈 ・高尾陣馬特別警戒 ・観光地公衆便所の維持管理

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	一般観光の推進						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 観光課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	④	-		
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	平成30年度(公社)八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱、八王子市いきいき産業基本条例												
事業目的 (最終的に目指す状態)	観光産業振興プランの主体的な担い手である(公社)八王子観光コンベンション協会の人件費の一部を補助し、本市と相互に連携することで、観光客の誘致を促進し、本市の観光振興を図る。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	3,590	16,411	17,104	693	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,301	14,986	3,401	△ 11,585		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0
	小計	4,892	31,397	20,506	△ 10,891	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	業務費用	物件費	3,689	9,060	6,518	△ 2,542		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	1,576	2,718	2,710	△ 7
		その他	0	0	0	0		小計	1,576	2,718	2,710	△ 7
	小計	3,689	9,060	6,518	△ 2,542	経常収支差額(A)		△ 44,886	△ 90,239	△ 84,007	6,233	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 44,886	△ 90,239	△ 84,007	6,233	
	小計	8,580	40,457	27,023	△ 13,434	一般財源充当額(D)		44,149	76,589	83,853	7,264	
	移転費用	37,882	52,500	59,693	7,194	再計(C)+(D)		△ 737	△ 13,651	△ 154	13,497	
小計	46,462	92,957	86,717	△ 6,240								

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	八王子観光コンベンション協会補助金(人件費)【57,744千円】 八王子観光コンベンション協会補助金(運営費)【1,890千円】 八王子観光コンベンション協会事務所管理費【4,571千円】	建物賃貸料【2,506千円】 施設共益費等負担金【204千円】

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.49人	2.26人	2.36人	0.10人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.49人	2.26人	2.36人	0.10人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	10.53%	33.78%	23.65%	△10.13%
②		単位当たりコスト	円/				
③		単位当たりコスト	円/				
④		単位当たりコスト	円/				
⑤		単位当たりコスト	円/				

事業実績

30年度目標	八王子観光コンベンション協会や関連団体とともに、本市の魅力的な観光資源やみどころ等を集約した観光ツールを活用するとともに、2019ラグビーワールドカップ2019日本大会や東京2020大会などのスポーツ大会を契機とした海外や市外からの観光客の誘致や周遊促進を目指す。	29年度末時点の課題	コンベンション協会事務局機能の体制強化の検討。 また、高尾山リニア広域連携事業における連携5市との公平な役割分担の検討。
目標に対する事業実績	(公社)八王子観光コンベンション協会は、観光業をはじめとする地域企業や団体等と連携し、新たな観光振興を推進するとともに、MICE推進を図った。これには、新たな組織のもと計画的かつ総合的な観光施策等を考案するために組成された、各委員会も重要な役割を担っており、各分野の市内業者等の新たな意見が取り込まれ、新たなコンベンション協会として機能している。 別の中事業「観光資源情報の活用」外国人観光客の誘致で作成した、外国人観光客の志向や動向を踏まえたPR動画、パンフレット等を活用した観光情報の発信も行われた。	課題への対応	コンベンション協会における事務局機能の体制強化については、H31年度にMICE担当が1名増員する予定となっているが、全体的な見直しには至っていない。 高尾山・リニア広域観光拠点地区連絡会事業の役割分担の是正に関して、連携市への働きかけを検討した。
30年度評価	達成	次年度の展開	未解決 拡充

今後の取組

元年度目標	観光産業振興プランの主体的な担い手であり、観光振興およびMICE誘致を担う観光コンベンション協会について、組織内での円滑な情報共有とさらなる事業推進を目的に、セレオ内へ移転、8月からの運用が予定されている。引き続き、本市との密接な連携が必要なことから、八王子市の占有部分について賃料等の支出を行うとともに、観光振興を推進するため、コンベンション協会の職員費等を補助する。 八王子観光コンベンション協会や都市間交流を行っている行政や関連団体とともに、本市の魅力的な観光資源やみどころ等を活用し、ラグビーワールドカップ等で来日した外国人をはじめとする観光客に対し、本市への来訪を促すとともに再来日を促すための観光情報の発信に努める。	30年度末時点の課題	コンベンション協会の自主事業及び補助事業等の膨大な業務量により例年時間外勤務手当が増額している。しかし、コンベンション協会内において業務の均衡が図られておらず、特定職員に偏っている。また、課制度が整ったが、始動したばかりであり協会全体としての支援体制が機能していない。
元年度の取組	八王子観光コンベンション協会が取り組む、MICEを活用したビジネス観光や一般観光の後押しを行うとともに、体験型観光の充実や本市の伝統文化を活かした新たな観光振興を図るとともに、ラグビーワールドカップ等を契機とした外国人をはじめとする来訪者の誘致を図る。	2年度の計画	2021年の産業交流拠点の開設に向け、八王子観光コンベンション協会等が行う事業へ補助金等の支出を行うとともに、八王子市や関連団体と連携し、魅力ある観光情報を活用し、来訪者の誘致につなげる。また、東京2020大会を契機とした、海外から日本各地へ来訪する外国人観光客や、MICEを誘致し、地域経済の活性化を図るため、関連団体等との連携を強化してゆく。

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	高尾599ミュージアムの管理運営						事業類型	施設運営								
担当部課	産業振興部 観光課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興			まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-				
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	八王子市高尾599ミュージアム条例															
施設名称	高尾599ミュージアム															
施設の設置目的	高尾山を中心とした豊かな自然及び歴史に関する展示を通して、市民の自然及び歴史に関する知識の向上に資するとともに、人々の交流と地域の賑わいを創出する															
施設運営形態	指定管理者により運営している施設です。															
利用料金収入(千円)	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)												
	6,345	6,353	6,513	0												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	9,378	9,658	10,726	1,069	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	4,359	1,866	2,763	896		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0
	小計	13,737	11,524	13,489	1,965	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	物件費等	物件費	97,585	95,508	97,157	1,649		使用料及び手数料	0	8,413	14,546	6,133
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	22,765	22,765	22,765	0		その他	177	1	0	△1
		その他	0	0	0	0		小計	177	8,414	14,546	6,133
	小計	120,351	118,274	119,922	1,649	経常収支差額(A)		△140,539	△127,100	△124,460	2,640	
	その他の業務費用	支払利息	5,675	5,691	5,569	△121		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	5,675	5,691	5,569	△121	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△140,539	△127,100	△124,460	2,640	
	小計	139,763	135,488	138,981	3,493	一般財源充当額(D)		114,716	112,867	138,083	25,216	
	移転費用	953	26	26	0	再計(C)+(D)		△25,823	△14,233	13,623	27,856	
小計	140,716	135,514	139,007	3,493								

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	指定管理料【95,527千円】 映像機器保守点検委託料【1,630千円】	高尾山麓駐車場使用料【14,546千円】

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.28人	1.33人	1.48人	0.15人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.28人	1.33人	1.48人	0.15人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	建物減価償却率	%	4.33%	6.33%	8.33%	2.00%
②	その他	人件費比率	%	9.76%	8.50%	9.70%	1.20%
③	成果指標	来館者数	人	326,055	352,905	374,060	21,155
		単位当たりコスト	円/人	432	384	372	△12
④		単位当たりコスト	円/				
⑤		単位当たりコスト	円/				

貸借対照表

(単位 千円)

勘定科目		28年度末	29年度末(a)	30年度末(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度末	29年度末(a)	30年度末(b)	対前年度(b-a)	
【資産の部】						【負債の部】					
事業用資産	土地	306,092	306,092	306,092	0	固定負債	市債	665,536	628,420	590,990	△ 37,430
	建物	697,574	697,574	697,574	0	退職手当引当金	9,681	9,592	10,235	643	
	建物減価償却累計額	△ 30,228	△ 44,180	△ 58,131	△ 13,951	その他	0	0	0	0	
	その他	115,577	106,763	97,949	△ 8,814	小計	675,216	638,012	601,225	△ 36,787	
	小計	1,089,015	1,066,250	1,043,484	△ 22,765	流動負債	市債	8,464	37,116	37,430	314
	インフラ資産	土地	0	0	0	0	未払費用	906	893	843	△ 50
	建物	0	0	0	0	賞与等引当金	759	793	928	135	
	建物減価償却累計額	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	小計	10,130	38,802	39,201	399	
	小計	0	0	0	0	負債合計	685,346	676,814	640,426	△ 36,388	
長期延滞債権	0	0	0	0	【純資産の部】						
徴収不能引当金	0	0	0	0	固定資産等形成分	1,089,015	1,066,250	1,043,484	△ 22,765		
その他	0	0	0	0	余剰分(不足分)	△ 685,346	△ 676,814	△ 640,426	36,388		
小計	1,089,015	1,066,250	1,043,484	△ 22,765	純資産合計	403,669	389,436	403,058	13,623		
流動資産	現金	0	0	0	0	負債及び純資産合計	1,089,015	1,066,250	1,043,484	△ 22,765	
未収金	0	0	0	0							
徴収不能引当金	0	0	0	0							
その他	0	0	0	0							
小計	0	0	0	0							
資産合計	1,089,015	1,066,250	1,043,484	△ 22,765							

30年度末	土地	建物
主な内訳	高尾599ミュージアム【306,092千円】	高尾599ミュージアム【697,574千円】

事業実績

30年度目標	継続的な利用者数の増加(前年実績である35万人)	29年度末時点の課題	継続的な利用者数増
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 開館3周年記念イベント「TAKAO599祭」を実施 好評のイベントについては引き続き実施し、ターゲットが一致しないイベントについては適宜見直しを行った。また、今まで訴求できていなかった層に向けた新規イベントを実施するとともに、消防・警察と協力し防災・安全に焦点をあてたイベントも実施した。 教育機関と連携し、夏休み自由研究連絡会の実施や市内教員に対する研修に協力するとともに、市内外の小中学校を受け入れ、高尾山の魅力を発信。 	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 既存イベントの見直しと、新規企画の実施 教育機関との連携を強化し、市内外の小中学校の受け入れを積極的に進めた。
30年度評価	達成	次年度の展開	解決 拡充

今後の取組

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数の継続的な増加 プロジェクションマッピングの製作 	30年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な管理運営 利用者数の継続的な増加
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営 プロジェクションマッピングの製作 599祭 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営 599祭 オリンピック・パラリンピックへの対応

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	都市活性化						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 観光課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-		
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	八王子市いきいき産業基本条例、平成30年度活力ある都市づくり推進事業補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	「ファッション都市・八王子基本構想」をもとに、商工会議所が中心となって行われるファッション都市協議会の活力ある都市づくり推進事業を支援し、中心市街地を主軸とした、本市の活性化を図る。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	1,832	871	3,189	2,318	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	588	72	2,510	2,438		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0
		小計	2,420	943	5,699	4,756		分担金及び負担金	0	0	0	0
	業務費用	物件費	0	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	920	0	△ 920
		その他	0	0	0	0		小計	0	920	0	△ 920
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		経常収支差額(A)	△ 4,420	△ 2,022	△ 7,699	△ 5,676
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		小計	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	2,420	943	5,699	4,756	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		△ 4,420	△ 2,022	△ 7,699	△ 5,676	
	移転費用	2,000	2,000	2,000	0	一般財源充当額(D)		4,135	3,125	5,317	2,192	
	小計	4,420	2,943	7,699	4,756	再計(C) + (D)		△ 284	1,102	△ 2,382	△ 3,484	

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	ファッション都市協議会補助金【2,000千円】	—

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.25人	0.12人	0.07人	△ 0.05人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.25人	0.12人	0.07人	△ 0.05人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	人件費比率	%	54.75%	32.04%	74.02%	41.98%	
②	活動指標	イベント参加者数	人	161,171	170,585	129,295	△ 41,290	
		単位当たりコスト	円/人	27	17	60	42	
③		単位当たりコスト	円/					
④		単位当たりコスト	円/					
⑤		単位当たりコスト	円/					

事業実績

30年度目標	産官学民一体となって魅力あるイベントが企画・開催され、まちなかが多くの人でにぎわい、地域を活性化する。また、所管担当の見直しを行い、事務の引き継ぎを行う。	29年度末時点の課題	担当所管の見直しや、市外からの来訪者を集客するためのPR方法の見直しが必要
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のまちづくりフェア2018:25,000人 ・八王子夏の風物市(あさがお市):30,000人 ・Tシャツデザイン画100選:1,295点(応募者) ・全国大陶器市:38,000人 ・八王子メッセ「街道市」:35,000人 	課題への対応	担当所管への移行を段階的に実施した。
			一部解決
30年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

今後の取組

元年度目標	産官学民一体となって魅力あるイベントが企画・開催され、まちなかが多くの人でにぎわい、地域を活性化する。	30年度末時点の課題	市外からの来訪者を集客するためのPR方法の見直しが必要。円滑な事業の引き継ぎ。
元年度の取組	産業政策課にて、中心市街地活性化を主とする各種イベント(花と緑のまちづくりフェア、Tシャツデザイン画100選、八王子 夏の風物市、八王子メッセ「街道市」)等の開催に要する経費の一部を補助し、運営の支援を行う。	2年度の計画	産業政策課にて、中心市街地活性化を主とする各種イベント(花と緑のまちづくりフェア、Tシャツデザイン画100選、八王子 夏の風物市、八王子メッセ「街道市」)等の開催に要する経費の一部を補助し、運営の支援を行う。

事業概要

事務事業評価シート(平成30年度(2018年度)事業)

事務事業名	新たな観光資源の整備					事業類型	補助・負担・支援									
担当部課	産業振興部 観光課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	—	—					
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例、平成30年度観光産業補助金交付要綱、平成30年度八王子フォトロゲイニング滝山実行委員会負担金交付要綱															
事業目的 (最終的に目指す状態)	本市の新たな観光産業の魅力を発掘し、来訪者の誘致及び賑わいの創出を促す															

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	6,081	7,915	9,349	1,434	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,617	2,773	2,907	135		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	511	2,400	335	△ 2,065
	小計	8,698	10,688	12,257	1,569	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	業務費用	物件費	4,100	1,471	1,574	102		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	1,859	0	0	0
		その他	0	0	0	0		小計	2,370	2,400	335	△ 2,065
	小計	4,100	1,471	1,574	102	経常収支差額(A)		△ 15,832	△ 17,815	△ 17,051	764	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	26	56	56	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	26	56	56	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		△ 15,832	△ 17,815	△ 17,051	764	
	小計	12,824	12,215	13,886	1,671	一般財源充当額(D)		17,833	16,073	15,832	△ 241	
	移転費用	5,379	8,000	3,500	△ 4,500	再計(C) + (D)		2,001	△ 1,742	△ 1,219	523	
小計	18,203	20,215	17,386	△ 2,829								

30年度	経常費用	経常収入
主な内訳	八王子フォトロゲイニング滝山実行委員会負担金【1,500千円】 八王子フードフェスティバル事業負担金【1,000千円】 体験楽習フェスティバル事業負担金【1,000千円】	区市町村観光インフラ整備支援補助金【335千円】

事業の人員体制

	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.83人	1.09人	1.29人	0.20人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.83人	1.09人	1.29人	0.20人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	28年度	29年度(a)	30年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	人件費比率	%	47.78%	52.87%	70.50%	17.63%	
②	成果指標	フォトロゲイニング大会申込者数(人)		318	330	342	12	参加者満足度など過去の大会実績の高さに起因するもの。
		単位当たりコスト	円/	57,241	61,257	50,837	△ 10,420	
③	成果指標	フードフェスティバル来場者数		13,000	46,000	34,000	△ 12,000	市制100周年のメインイベント「緑化フェア」と併せ大々的に同時開催した平成29年度との違い。
		単位当たりコスト	円/	1,400	439	511	72	
④	成果指標	体験楽習フェスティバル来場者数		1,846	27,031	4,720	△ 22,311	イベント規模縮小(1か月→2日)によるもの。
		単位当たりコスト	円/	9,861	748	3,684	2,936	
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

事業実績

30年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月に「続日本100名城」に選定された国史跡・滝山城跡をはじめ、加住地域の観光資源のさらなる魅力の発信に努める。 市内の農産物や食文化を発信するフェスティバルや、参加体験型の体験プログラムの活用や磨き上げを行うとともに、それらのコンテンツを効果的に活用し、観光客の誘致に取り組む。 	29年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> フォトロゲイニングは、競技の特性上、同地域内での継続開催が難しいことから、3年間限定の開催とすることがすでに決定しているため、2019年度以降の新たな事業コンテンツの検討を要する。 中心市街地で行われていたフードフェスティバル会場を変更し、食文化やフェスティバルを市内各地域で周知するため会場変更を検討する。体験楽習フェスティバルについて、2022年度の産業交流拠点の開設にむけた事業実施の方向性の検討。
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市内北部の加住地域を舞台に滝山三城(滝山城跡・高月城跡・根小屋城跡)などの観光スポットを周遊するイベントとして第3回目となるフォトロゲイニング大会を開催し、賑わいの創出に努めた。また、来訪者の幅広いニーズに対応するため、英語版の滝山三城パンフレットの作成や顔はめ看板の作成に取り組み、おもてなし環境の整備を図った。 八王子の食の魅力を発信するフードフェスティバルを南大沢にて初開催し、34,000人の来場者で賑わい、地域と共に盛り上げることができた。 また、観光産業振興会議で提言のあった「体験楽習フェスティバル」の一環として、クリエイトホールにて3日間開催し、4,720人を超える参加者で賑わった。全体シンポジウムをメインとして、30の参加体験プログラム、31団体の展示プログラム、4グループによるシンポジウムを実施し、プログラム出展団体の情報交換を通じた機運醸成を図るとともに、本市の体験プログラムのポテンシャルを幅広く周知した。 	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 2019年度については、フォトロゲイニング大会に代わる新たな事業を展開し、引き続き加住地域の魅力発信と機運醸成に取り組んでいく。 フードフェスティバルについては、初の南大沢での開催により、34,000人の来場者で賑わった。また、体験楽習については東京2020大会、2022年度の産業交流拠点開設を軸とした事業の展開を検討することができた。
30年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

今後の取組

元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 「続日本100名城」の国史跡・滝山城跡をはじめ、加住地域の観光資源のさらなる魅力発信に努める。また、地域住民が加住地域に対するシビックプライドを醸成できるよう、事業の遂行を通じ後押ししていく。 市内の農産物や食文化を発信するフェスティバルや、参加体験型の体験プログラムの活用や磨き上げを行うとともに、それらのコンテンツを効果的に活用し、観光客誘致に取り組む。 体験楽習フェスティバルは、平成30年度の参加団体やプログラムを発展させながら、フォーラムやデモプログラム等を実施する。 	30年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 2019年度以降実施する観光推進を目的とした新規事業の充実化。 体験楽習事業については限られた予算の中での実施となったため、観光コンベンション協会が交付対象となる東京観光財団補助金の活用を行ったが、交付決定後の予算執行になったため、十分なPRができなかった。 フードフェスティバルについては、提供品に地元食材を積極的に取り入れるなど、豊かな食文化を持つ八王子ならではのコンセプトを明確にした事業展開を継続させる。
元年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> フォトロゲイニング大会に代わり実施される加住地域の観光推進を目的とした事業コンテンツの充実を図る。 フードフェスティバルについては他イベントとの連携も視野に入れ、ユーロードでの開催を検討し、中心市街地の活性化を図る。 体験楽習事業については、東京2020大会のモニュメントが設置される高尾山において、市外から来訪される方に八王子の体験プログラムの魅力を発信する。 	2年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業などを活用した加住地域の魅力発信と機運醸成を図る。 東京2020大会開催期間中に高尾を中心とし、体験楽習プログラムを実施する。 フードフェスティバル事業、体験楽習事業ともに2022年度に開設される産業交流拠点でのイベント実施を見据え、実行委員会での検討を続ける。更にはMICE誘致の武器となるよう、コンテンツの磨き上げを行っていく。